

支部探訪ー深川

支部長 縣 博基

■仲良しクラブ

深川市は周囲が水田、石狩川と函館本線が平行に走る中にある街です。そんな街で職業も年令も違う写真好きの七名が集まり平成四年十一月十二日深川支部を創立しました。

例会は奇数月に行い、作品を持ち寄り講習をし撮影会は年二回、春、秋とし、入会希望があれば受け入れることを決定しました。平成六年十一月の例会には当時若かった、現在写真協会副会長の武藤省吾先生を招き講演、講評をして頂きました。



支部結成15周年記念写真展

現在、会員は十八名(女三名 男十五名)で活動しております。市内にある深川第一病院ロビーには毎月作品を展示し、深川市立病院ロビーでも隔月毎に展示して市民に見て頂いております。

支部展は経済センターにて年一回、深川市文



支部例会風景

化芸術祭にも出品して参加しています。例会には会員の手作りミニ個展も年に数回開かれます。創立当初から例会で持ち寄った作品を講評しようと決めていましたが、当支部の会員は他人の作品を批評したり、順位を決めるよりお互いの作品をほめ合って互いの技術をのばすことを大事にして、皆で仲良しクラブと呼んでおります。

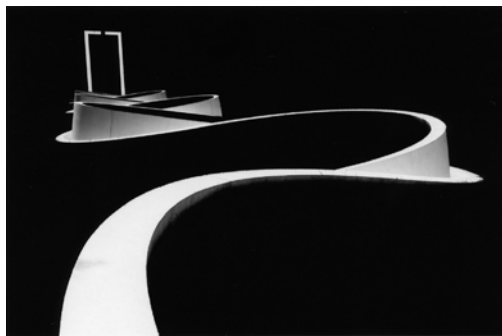
■支部会費の使い方

支部会費は月千円ですが、数年前から当支部の道展への出品者が少ないため、出品料を会で全額負担したところ、多数の出品者もあり、入選者も増えました。道展の作品集も購入者には千円負担で完売。道写協の本部の年会費も負担しております。例会には昼食券等も用意し楽しく行っております。年二回の撮影会には営業バスを利用したり、レンタルバスで行きますが、費用の半額は会で負

担して楽しい旅行を心がけています。創立当初からプライベートで撮影に行く時は仲間仲良しクラブをめぐりたいと思います。今後、も会員の道展への出品を増やし入賞、入選することが願いです。

写真展 紹介

— 森 哲 写真展 — アートの世界



日時 十一月二十五日(木)〜三十日(火)
会場 道新ぎやらりーA
展示点数 全紙他三十二点

写真展によせて

札幌芸術の森野外美術館には、著名な作家の彫刻が展示されています。その彫刻を素材にデジタル処理をし、異次元での表現を試みました。

写真展を終えて

■奥野 時夫写真展

「アジア展望」

写歴六十年還暦展

会期 二〇一〇年六月十六日〜二十日
会場 釧路市生涯学習センター

釧路市民文化財団の主催で、写歴六十年を記念しての還暦展を開催。千人以上の来場者がありました。近作三十五点、旧作四十二点を全紙、カラーで、東南アジア、パキスタンからインドネシアまでの生活、風俗の作品を展示。私の写真歴はスナップに始まり、スナップで締めくくったといえます。今後も老骨にむち打って、ゴーイングマイウェイ。「写真は感動の表現である」をモットーに生涯現役に頑張ります。

■工藤 二男写真展

「浜・港の色と形」

会期 二〇一〇年四月二十八日〜五月二日

会場 釧路市生涯学習センター

造形・心象を中心とした写真、全紙・半切カラー五十四点を展示しました。

日常よく目にする光景や色づかひも注視することで被写体になり得ることや写材は足元に幾らでもあるということ、多数の来場の方々から認識していただきました。会期中は釧路支部の皆さんのお手伝いを頂き無事終了することができました。